

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている。 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティングの際に理念の確認と共有に努めている。また、理念に則したケアの実践に向け日々のケアに対する目標も設定している。地域とのつながりは行事の実践を含めて確認するよう努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会へ加入し、地域の一斉清掃に参加している。新型コロナの影響により、地域の行事の参加等対面での交流は難しいが、インターネット等を使った新たな交流の方法を模索している。	インターネット交流を検討していく。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナの影響により会議の開催は行えていないが、施設全体や事業所の取り組み、活動について報告を書面で行い、改善点等の意見を頂き、実践出来るよう職員間で共有している。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実地指導時の改善案、事故発生時の報告や指示を頂くなど連絡を取り、具体的に助言を頂いたことを実践している。	事故発生時の報告などを行っている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「高齢者虐待防止」の内部研修を実施。身体拘束しないケア委員会は毎月開催している。「自己点検シート」を用いて課題を抽出し、ケアの改善に努めるなど不適切ケアゼロを目指している。ユニットに1名高齢者虐待防止担当者を設置している。		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不適切ケアや高齢者虐待に関しては利用者の尊厳を守るため、管理者・職員全員で検討し、内部研修や不適切ケア防止への意識を深める取り組みを実施していることから。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記の内部研修を年6回実施し、毎月の身体拘束しないケア委員会で不適切ケアや虐待防止について学び、ユニットにも周知している。また、高齢者虐待防止ユニット担当者を中		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止に関する取り組みが計画的に行われている。また常時職員一人一人の行動を振り返りながら、見直しを実施していることから。

				心に、ユニット会議等でケアの確認を行ない防止に努めている。		
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部、外部研修への参加で権利擁護について学び、伝達を行なっている。日常生活自立支援や権利擁護については必要時に関係者と話し合いながら支援を行なえるような体制をとっている。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約、解約等については事前にご家族の意向や疑問点に対する質問や説明などを行い、理解を得られるよう努めている。改定があった際にはその都度お知らせし、機会を設け理解頂けるように説明している。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時や電話連絡時、ご家族の要望を伺うと共に、意見箱を設置し、意見を頂けるように配慮している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族への定期連絡や近況報告などを通して、理解や納得に努め、意見や要望をくみ取り、繁栄するなどの仕組みがあるため。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の職員とのコミュニケーションの中で意見交換を行なうと共に、月2回のミーティングの際など職員間で意見交換や意見の反映が出来る環境の整備に努めている。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を導入し、定期的な自己評価や面接を行ない振り返っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を利用し、職員が目標や向上心を持って、働けるように定期的な面談を行う仕組みを整え、より良い職場となるように取り組んでいるため。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内外で勤務年数や担当業務に合わせた研修参加を行なっている。年度開始時に各職員から希望があった研修へ参加出来るよう配慮している。研修への参加以外にも、中堅以上の職員は研修企画も行なっている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部・外部研修参加や勉強会を行うなど、職員を育てる仕組みや、資格取得の支援など意欲向上につながる取り組みを行うことが出来ている。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	宮城県グループホーム協議会に加入しており、事業所間での情報交換を行なっている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者1人1人の出来ることを把握し、必要な支援の検討を行っている。また、洗濯物干しや洗濯物たため、食器拭きを職員と一緒に頂いて頂くなど家事に携わって頂き、暮らしを共に出来るよう心掛けている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの友人の面会等、新型コロナの感染対策に配慮した形で行なっている。	オンライン等を使ってなじみの方々との面会が出来た。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの生活歴や日常の会話・行動を把握しご家族からも情報を頂き、毎月のカンファレンスで暮らし方やニーズを職員同士で確認し、本人の思いを実行するように努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族・本人の意向を確認し、主治医や看護師とも連携して、必要なケアを毎月のカンファレンスの際に検討している。本人らしい生活出来るよう話し合いながら介護計画を作成している。		A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメント表や毎月のモニタリングカンファレンスを通して入居者一人一人の理解とケアの検討を行い、情報共有に努め、実践を行っている事が確認できるため。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活状況をケース記録として記入している。又、個別の申し送りを徹底し職員全員が把握確認できるようにし、薬や生活用品等も別の申し送り簿を使用しながら、記録を基にモニタリングプランに活かしている。		A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活状況はケース記録に残し、申し送り簿は一人一人の必要な情報共有を職員間で行いながら、日々より良いケアを目指していることを確認できる。。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれ るニーズに対応して、既存のサービスに 捉われぬ、柔軟な支援やサービスの多 機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話連絡時に要望を伺い、要望が あればご本人の状況に合わせてチ ームで取り組み、迅速に対応できる ように努めている。			
	20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資 源を把握し、本人が心身の力を発揮しな がら安全で豊かな暮らしを楽しむことが できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の行事等に参加していたが、 コロナの影響で開催されず、以前と 比べ地域との交流が大きく減ってい る。各関係者と連絡を取りながら、別 の形で参加、交流を持てる方法を模 索している。		
21	かかりつけ医の受 診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られたかかりつけ医と事 業所の関係を築きながら、適切な医療を 受けられるように支援している	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医の定期訪問と随時の報告・訪 問・相談で密に連携し、相互に協力 し合いながら医療の機能分担を図っ ている。又、入居者の状態に合わせ 入居前に受診していた医療機関の 継続利用や、新規受診も行き、対応 している。			
22	入退院時の医療機 関との協働	利用者が入院した際、安心して治療で きるように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や 相談に努めている。あるいは、そうした場 合に備えて病院関係者との関係づくりを 行っている。	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナの影響で面会が難しい ため、入院中は担当医、担当看護師 からの情報を収集し、密に連携を図 り、家族やユニットに周知している。 退院に関しては準備・話し合いの場 を設け対応している。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナ感染の影響で、実態調査な ど直接の病院訪問の頻度を減らし、地 域連携室の相談員と電話での密なやり 取りを行いながら、かかりつけ医や医療 機関との連携はしっかり行っていること を確認できる。
23	重度化や終末期に 向けた方針の共有 と支援	重度化した場合や終末期のあり方につ いて、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に 説明しながら方針を共有し、地域の関係 者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に重度化・終末期について の方針を家族に説明するとともに、 ご本人の状態が変化することに応じ て、ケアプランを提示し、家族の意向 を確認していく。また、主治医・看護 師と密に連携を図り、情報共有にも 努めている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期にはご本人の希望に沿った支援 を行えるように、ご本人、ご家族の意向 を確認しながら、説明等を行い、意向に 沿った終末期ケアを行えていることが確 認できる。
	24	急変や事故発生時 の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、 全ての職員は応急手当や初期対応の訓 練を定期的に行い、実践力を身に付けて いる	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内での研修や救急救命の講 習などの勉強会に参加している。ま た、事故発生時のマニュアルも作成 しており、新人職員や異動職員がす ぐに対応できるように、事前の準備 や説明を行なっている。		

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に防災訓練を行い、昼夜を問わず、入居者を安全に避難・誘導するために必要な知識や動きを身につけられるよう取り組んでいる。また、災害時の食料や物品等についても担当者が中心となり確認している。	備品の保管、一週間分の非常食の準備、消火設備の定期点検は行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に消防防災に関する訓練の実施や災害への備え、フローチャートの確認、物品や設備の点検等が実施されていることを確認する。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	せんだんの里の理念に基づき、入居者1人1人の人格を尊重し、目上の方であるという尊厳を常に忘れず、プライバシーや自尊心を損ねる事の無い言葉かけや対応に配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者一人一人の人格を尊重した対応や声かけが行われ、言葉の内容や声のトーンにも配慮しているのが確認できる。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の都合で生活を管理するのではなく、入居者のペースで1人1人の要望に合わせて過ごして頂けるような支援を意識できるよう、常に職員間で確認し、対応している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日の献立を書き出し、見て楽しみを持って頂いたり、食前の準備、後片づけ等出来る事に参加して頂いている。また、育てた野菜の収穫や季節の献立等楽しい食事の支援に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	メニューの書き出しをしたり、食事の準備や後片付けなどに主体的に関わることにより、おり一層食事を楽しむ仕組みが確認できる。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事、水分量は、毎日記録し職員で把握しており、管理栄養士の指導の下、その方に合わせた水分量、食事量の保持に努めている。摂取量や栄養状態を把握し、必要時は補助食品や好みの物で摂って頂く等配慮している。			管理栄養士は法人の職員ですか→法人の職員で、定期的なラウンドを行いながら、飲み込み状況や体重の増減等も含めた指導を行います。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床時、就寝時以外にも、義歯の方など残渣が多くある方は、毎食後に口腔ケアを行って頂いている。全員訪問歯科を利用し指導を受けており、入居者の状態に合わせた口腔ケアの支援を行なっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に訪問歯科医、歯科衛生士が来訪し、一人一人の入居者に合わせた口腔ケアと必要な治療が行われ、介護職員による日常的なケアの実施が出来ていることを確認できる。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄状況を記録し、随時トイレ誘導を行なっている。また、訪問看護師と連携し、下剤の調整を行い、便秘の予防に努めている。自立している入居者に関しては見守りを中心にケアしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要に応じて、排尿、排便状況をチェック表に記しながら、入居者一人一人の排泄パターンに合わせた支援を確認できるため。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り、入居者の希望を伺いながら入浴を楽しんで頂けるように支援を行なっている。体調や身体状況、症状によって必要な対応や声掛けを職員間で共有し、快適な入浴を行えるよう配慮している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の体調に合わせて日中にも居室で休んで頂く時間を設けるなど配慮している。また、職員の都合ではなく、入居者のペースに合わせてより安心して眠れるように声掛けして休んで頂いている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の服薬内容を把握し処方された薬に関しては服薬方法・効果などを確認している。服薬で見られた効果や、入居者の変化が見られたら、主治医や訪問看護師に報告、相談し、適切な服薬を行なえるよう留意している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬管理ファイルにて情報を管理し、服薬による効果や影響を観察できている。そのことが日常のケアや医療に関するやり取りに活用され、適切な服薬支援が出来ている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の生活歴や趣味嗜好の理解に努め、好きな事、出来る事を把握し家事作業や趣味等を日常的に行って頂けるよう支援している。また、日々軽体操やレクリエーション等で気分転換も行って頂いている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍もあり、施設外への外出支援は控えているが、施設敷地内で散歩や季節の行事などを実施している。			

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お金の所持の希望がある方にはご家族と相談し少額の個人用の財布を持って頂いて可能な限りの管理を行なっている。その他希望に応じて本人の預り金を使用し必要な物を購入できるよう支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族からの電話やはがき、贈り物等が届いたら、入居者が電話で返事を出来る機会を設けている。また、家族と携帯電話でお話しをされる入居者もいる。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節感のある装飾や写真、皆様と一緒に作った作品、観葉植物を配置し明るさ・音・温度などを確認しながら随時調整している。定時で居室の湿度、温度を確認し、通年で安定した気温での生活を提供出来るよう努めている。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者一人一人の各居室にはご家族の協力を得て居心地よく暮らせるような工夫が見られている。共有スペースには入居者と共に手作りした季節を感じる装飾が見られている。また室温・湿度等も毎日3回確認するなど、居心地よく生活できるように環境を整えているため。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの生活歴や日常の会話・行動を把握しご家族からも情報を頂き毎月カンファレンスで暮らし方やニーズを職員同士で確認し本人の思いを実行するように努めている。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外出などの制限があるが、施設内においては普段の生活を継続し、家事・テレビ・新聞を読む・談話など暮らしの習慣を崩さずに本人らしい生活を支援している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医往診(月2回)・訪問看護師(毎週)の定期訪問、と随時の報告・訪問・相談で密に連携し、相互に協力し合いながら医療との連携を図っている。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医や訪問看護師の定期的な対応や緊急時の体制を整えていることで、医療連携が整い、不安が少ないことが確認できる。

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の都合で生活を管理するのではなく、入居者一人一人の要望に合わせて過ごしていただけるよう支援している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前ご自宅で使用されていた物などを自室に配置することで安心して生活して頂ける環境作りを行っている。		A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族との協力の下、馴染みのものや大切なものを持ち込むことで、安心して日々を過ごすことが出来ていることを確認できる。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナ対策に配慮しながら施設内で季節に合わせた行事等食事を実施している。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の生活歴や趣味嗜好の理解に努め、好きな事、出来る事を把握し家事作業や趣味等を日常的に行って頂けるよう支援している。また、日々のレクリエーション等で気分転換も行って頂いている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の生活を基に孤立やトラブルにならないよう入居者同士の関係性を把握し、都度食事の席を検討し関係を築けるよう配慮している。日常的に軽体操、レクリエーション等を行い、入居者同士の交流も図っている。また、窓越し面会等も		A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出が難しい状況下においても入居者の能力や状態に応じた活動支援、また関係性を考慮した食席などにより一人一人の満足した穏やかな表情を確認する事が出来る。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの生活歴から入居者の地域との関わりを把握し、関係が継続できるよう努めている。また、事業所として地域との関わりの中で、交流できる機会を設けている。 窓越し面会、オンラインや手紙等コロナ禍に配慮した交流を行っている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている Ⓐ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の思いに寄り添えるよう、十分に傾聴し、常に職員間で確認しながら、一人一人の要望に合わせて、生活して頂けるよう支援を行っている。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出等制限されている(新型コロナ感染により)が、入居者の思いを受け止め、一人一人が安心して過ごせる GH であるように支援していることが、表情等や様子からうかがえる。

